

競 技 注 意 事 項

☆今年度はすべての大会において、5支部→6支部の順で競技を行います。ご注意ください。

1. 本大会は、2022年度日本陸上競技連盟規則に準じて行われます。
2. 本大会の参加に当たってのガイドラインは、東京都高体連陸上競技専門部のホームページからダウンロードしてください。
3. レーン(コース)および試技順序は、予選・準決勝・決勝とも主催者側で決定します。なおフィールドの試技順は、プログラム記載の上より下へという順序で行います。
4. 選手の招集(コール)は、次のように行われます。

- ① 予選・準決勝・決勝のいずれも、代理人による招集申告は認めません。なお、他種目を兼ねて出場する者で、招集時間に間に合わないような場合は、その事情を事前に競技者係および必要な審判員に申し出てください。また、出場を棄権する場合には、本人あるいは代理の者が競技者係に必ず申し出てください。
- ② 招集(コール)の時間は次のとおりです。
競技開始40分前に競技者係の所に集合し、競技開始30分前に完了とします。その際にアスリートビブス・サトビブスの確認を受けてください。また試合前現地でも招集を行いますので、必ず受けるようにしてください。棒高跳は1時間前に招集を行い、競技開始50分前に完了とします。リレーのオーダー提出は競技日程に記載された時刻を締切とし、以後は受け付けません。オーダーを提出しない場合にはリレー競技に参加できません。十分にご注意ください。

5. アスリートビブスは胸・背部の両面に確実につけてください。ただし跳躍の選手は胸部または背部の一方のみでもかまいません。サトビブスはすべてのトラック種目で使用します。右腰後側にきちんと付けて招集を受けてください。なお、男子5000m・3000mSCおよび女子3000mについては、胸部・サトビブスはレーン番(プログラム ORD)で作成し、背部は個人番号のものを使用してください。安全ピンも各校にて用意してください。
6. リレー競技に参加するチームは必ず全員同一のエフォームを着用してください。
7. 競技用具(投てき用具等)は、検査により使用を許可します。ただし、破損の場合の責任は負えません。競技場の用具も貸し出します。
8. 走高跳のバーの上げ方は次のようになります。

男子	(1.50)	1.55	1.60	1.65	1.70	1.75	1.80	(以降3cm刻み)
女子	(1.20)	1.25	1.30	1.35	1.40	1.45	(以降3cm刻み)	

9. 三段跳の踏切板から砂場までの距離は、男子11m、女子9mです。
10. 次ラウンド進出に関しては、原則として、同タイムの場合は抽選を行います。
11. 競技の進行上審判長の判断で、女子3000m-15分、男子5000m-20分、OP男子3000mSC-13分で打ち切りとします。打ち切り時には合図をしますのですみやかにレースを中止してください。なお、打ち切りタイム1分前に最終周にかかっていない選手は、その時点で打ち切りとします。出場人数が多い組については、9位以降の記録が発表できない場合もあり得ますので、あらかじめご了承ください。
12. オープン種目以外で、それぞれ8位までに入賞した選手には賞状を授与します。
13. ワールドアスレティックスのリストに載っていないシューズを使用する場合は競技者係で計測します。リストは専門部5・6支部HPをごらんください。
14. マスクの着用について、テント内など競技を行っていない時には必ずマスクを着用するようにしてください。特にフィールド競技に関して、試技と試技の間など競技をしていない間も必ずマスクを着用してください。
15. 大会結果は、東京都高体連陸上競技専門部公式ホームページをごらんください。